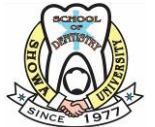




発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



昭和大学学祖祭が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る5月31日(日)午後1時から、上條講堂で平成27年度学校法人昭和大学学祖祭が、盛大に開催されました。学祖祭は本学の学祖である上條秀介先生のご遺徳を称え偲ぶとともに、本学関係者が一同に会して親睦の絆をより深めるために平成23年度から開催され、今年度で5回目になります。



当日の東京は5月としては記録的な真夏日になりました。学祖祭に先立ち、法人役員と上條家関係者が午前中に都立多摩霊園の上條家墓をお参りし、小口理事長が学校法人の平成26年度の事業報告ならびに27年度の事業計画を学祖に墓前報告しました。

上條講堂で開催された学祖祭には、4学部学生及び看護専門学校生92名を含め総勢424名の出席がありました。式典では小出学長から、昭和大学教育職員に対する最高の顕彰である上條奨学賞の授与が行われました。歯学部からは、口腔生理学講座の中村史朗講師(研究業績)と歯科矯正学講座の槇宏太郎教授(教育功績)が表彰されました。また、今年度から学術研究奨励研究者の表彰も行われました。



小口勝司理事長から事業報告及び法人の中長期事業計画が紹介され、細山田明義名誉学長から大学の歴史に関する熱のこもった記念講演がありました。参加者一同、本学の歴史と伝統を再認識し、今後の益々の発展を確信することができました。

文科省IT連携第1回公開シンポジウムと第7回ワークショップが開催されました

歯学教育学部門 片岡竜太

歯学部では文科省大学間連携共同教育推進事業の支援を受けて「超高齢社会で活躍できる歯科医師の養成」5年間のプロジェクトに岩手医科大学と北海道医療大学と関連する9歯科医師会と一緒に取り組

み3年が経過しました。この取組の成果を公開する第1回シンポジウムが6月3日(水)に昭和大学旗の台校舎で開催されました。

文科省高等教育局大学振興課の川原洋佑様に「本取組に期待するもの」として、1)本取組を3大学以外の大学にも広め、2)成果をわかりやすく公開し、3)本事業を継続可能なように後継者を育てて欲しいとご挨拶をいただき、次に奥州市国保衣川歯科診療所所長 佐々木勝忠先生に「卒前教育、卒後教育(歯科臨床研修)に求めるもの～NST連携、介護連携の実践の中から～」というタイトルでご講演をいただきました。保健・医療・福祉が一体化された施設の歯科診療所で長年多職種連携医療に取り組みながら、学生や研修医の指導をされている経験をもとに、「低栄養」と口腔内の状態の関連に関するお話をしていただきました。非常にわかりやすく説得力のあるお話でなぜ歯科医師が超高齢者に対応するチーム医療の一員になる必要があるのかが明確になりました。

シンポジウムでは、「取組の概要と成果について」と題して、片岡竜太教授(昭和大学)による本事業の全体像の紹介に続いて、越野寿教授(北海道医療大学)、城茂治教授(岩手医科大学)、弘中祥司教授(昭和大学)により、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学のそれぞれの取り組みについてわかりやすく紹介していただきました。東京都大田区大森歯科医師会 会長下山忠明先生には「ステーキホルダーとしての取組と本取組に期待すること」というタイトルで本取組を3大学に限らず他の大学も含めた事業に拡大し、高齢社会に対応できる歯科医師が一人でも多く養成されることを期待するというお話をいただきました。総合ディスカッションでは、本事業の現時点での成果および今後の課題について活発な討論がされ、最後に外部評価者の大西弘高先生(東京大学)とR.ブルーヘルマンズ先生(東京医科大学)に3大学の学生間の交流を図るべきであるという貴重なご意見をいただきました。



シンポジウムの後は向井美恵名誉教授、岩手医科大学の三浦廣行学部長をはじめ岩手医科大学や北海道医療大学の教職員の方々をまじえて、本取組のさらなる発展を祈りつつ懇親会が開かれました。

翌6月4日(木)には第7回のITを活用した教育セン

ターWSが開催されました。現在3, 4年生に活用しているIT教材の改善を検討し、5年生に用いる症例ベースの教材の概要を決定しました。歯科医師会の協力を受けておこなっている3大学の地域医療実習の紹介を基に、より良い地域医療実習について歯科医師会の先生方から活発なご意見をいただきました。3大学の連携とともに歯科医師会との連携がさらに深まってきたことを実感したWSでした。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そして運営にご尽力いただいた協力IT企業、ならびに各大学の事務関係者に心から御礼申し上げます。

平成27年度父兄会総会が開催されました

教育委員長 美島 健二

平成27年度父兄会総会が、6月13日(土)午後1時から本学上條講堂にて開催されました。総会では、平成26年度



の学校法人の事業報告と事業計画の概要が説明され、決算、予算の承認等が行われました。また、同日の総会に先立ちD6父母説明会が午前11時30分より4号館5階500号室にて開催され、最初に宮崎学部長、次いで上條学生部長より挨拶がなされました。その後、卒業判定について美島教育委員長、昨年度の歯科医師国家試験結果と総括演習の内容について高橋D6チュータ委員長より説明がありました。加えて、卒後研修制度について佐藤教授、歯科病院の研修プログラムについて長谷川教授より説明がなされました。総会終了後は各学部に分かれ部会が開催され、多数のご父兄の方々に御出席頂くことが出来ました。歯学部会では、宮崎学部長から歯学部教育の現状について説明があり、チーム医療などの本学における特徴ある教育や歯科医師会と連携した新たな試みである地域連携歯科医療実習などについてお話しがなされました。次いで、上條学生部長からは学生生活についての諸注意、特に、講義室の使用状況についてのお話しがあり、改善が必要な旨報告がなされました。また、美島教育委員長からは進級判定についての説明がなされました。その後、7号館の50年記念館に会場を移して4学部合同の懇親会が開催され、こちらにも多数のご父兄の御参加があり、教員との和やかな交流が行われました。



昭和大学白菊の集いが開催されました

口腔解剖学講座 中島 功

平成27年6月6日(土)12時30分より、昭和大学50周年記念館にて平成27年度昭和大学白菊の集いが開催されました。未明まで雨が降っていましたが、幸いに朝には雨も上がり、会員さんと同伴者合わせて歯学部83名、医学部148名の計231名が参加者されました。この”集い”は医学部と歯学部が交互に担当をしており、今年は歯学部の担当で歯学部の学生13名が会員さんの駅から会場までの道案内や会場内での案内と御世話に活躍をしていました。

”集い”は、歯学部の中島准教授の司会で行われ、歯学部口腔解剖学講座の中村雅典教授の開会



の辞に続いて物故会員への黙祷が行われました。さらに小出良平学長、久光 正医学部長、宮崎 隆歯学部長の挨拶に続き、歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔学部門の飯島毅彦教授による「麻酔が切り開いた現代の医療とこれからの医療」というテーマで講演が行われ、質疑応答ののち講演は14時に終了し、医学部解剖学講座肉眼解剖学部門の大塚成人教授の閉会の辞を持って終了いたしました。

石川県・富山県支部合同同窓会が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

本学歯学部の石川県・富山県支部合同同窓会が、去る5月23日(土)に石川県金沢市の料亭「つる幸」で開催されました。石川県支部は現在中出智也支部長(8回生)のもと



と会員10名、富山県支部は水野二郎支部長(8回生)のもとと会員12名と会員は少ないのですが、両支部で力を合わせて毎年合同の会を開催しています。

今回は16名の先生(準会員を含む)が出席しました。2回生の眞館藤夫先生のご尽力により、同窓会本部から飯島裕之同窓会長、大学から宮崎隆歯学部長、槇宏太郎歯科病院長、山本松男教授が出席しました。加賀料理と地元の銘酒を堪能して、会員や大学の近況と、学生時代の思い出話に花を咲かせました。両支部とも若い先生が少ないのですが、地元の金沢大学医学部口腔外科で選択実習を履修し卒後研修に進んだ卒業生もいます。新幹線の開通で東京への利便性が高くなりましたので、北陸から受験生や入学生が増えることを期待しています。

上條奨学賞(教育功績)を受賞して

歯科矯正学講座 榎 宏太郎

このたびは、歯学部、大学院を通じた歯学教育の推進ということで、上條奨学賞受賞の栄誉を賜りましたことを、誠に光栄に存じます。『教育は人との出会いである』という言葉があります。我が恩師との出会いがまさにそうでありました。以来、私は教育について何らの知識も持たぬまま、只々、恩師が与えてくれた感動的な講義に負けないようにしなければ、という思いで講義や実習を担当して参りました。しかし、残念ながら、長い年月を経た現在でも、私が学生時代に受けた講義を越すことは出来ておりません。

学生や院生諸君に申し訳ないという思いを感じることもあります。本賞の受賞を、このような不甲斐ない自分自身への叱咤激励と銘じ、若者の歯科医学に対する知的好奇心のさらなる発揚と生涯に渡って自学する喜びを知るための一助となるよう努力したいと思います。今後とも、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



上條奨学賞(研究業績)を受賞して

口腔生理学講座 中村 史朗

このたびは、「顎運動制御に関与する中枢神経機構の解明」により、上條秀介先生ゆかりの栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。このような栄えある賞をいただきましたのは、これまで11年間に亘りご指導・ご鞭撻を賜りました口腔生理学講座井上富雄教授をはじめ、講座員の先生方や学内外の共同研究者、共に研究してきた大学院生の方々のご理解とご協力によるものと心より深く感謝申し上げます。

昭和大学に赴任して以来、当講座のテーマである、摂食行動を制御する中枢神経機構に関する研究に携わってまいりました。赴任当時、電気生理学の研究手法を学んだ経験がなく、手法の原理やデータの解釈などを大学院生と一緒に一から学ぶという状況でした。データがなかなか出ず苦労した時期もありましたが、同時に生理学研究のおもしろさを感じながらここまでやってまいりました。

今回の受賞を励みとし、今後も摂食行動に関する研究を進めてまいりたいと存じます。また、研究を通じて昭和大学と口腔生理学講座のさらなる発展に寄与するため鋭意努力していきたく存じます。今後とも変わらずご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



留学生歓迎会が開催されました

歯科薬理学講座 高見 正道

5月25日、国際交流センター主催の昭和大学留学生歓迎会がタワーレストラン昭和で開催されました。平成27年度は、中国、インド、タイ、フィリピン、ネパール、バングラデシュ、エジプトから8名の大学院留学生を新たに受け入れ、旗の台キャンパス、昭和大学病院、歯科病院、横浜市北部病院にてそれぞれ研修をスタートしています。歓迎会には新人のほか、昨年度採用の留学生や外国籍正課生も参加し、国際色あふれた歓迎会となりました。冒頭で小出学長が挨拶を述べた後、留学生の自己紹介があり、ほとんどの留学生が昭和大学に対する感謝と期待、そして日本文化に対する好奇心を示していました。初めて体験した地震の恐怖を話す留学生もおり、外国人の視点を新鮮に感じました。今回歯学部は、リーナ・ロドリゲスさん(インド、口腔生化学)、ダイアン・オーストリアさん(フィリピン、歯科薬理学)及びジウ・ジュンさん(中国、歯科理工学)の3名の女性留学生を迎えました。所属先では、昭和大学の先進医療や学生教育に触れながら研究に取り組んでおり、将来、彼らが昭和大学と母国を結ぶ強い絆となってくれることを期待しています。



D3研究入門の優秀者が表彰されました

歯科薬理学講座 高見 正道

平成26年度の「研究入門」を履修した16名の歯学部3年生(現4年生)の中から、4名の優秀者が選ばれ、6月17日の教授会で表彰されました。この選択科目は、学生が約2週間、基礎系の研究室で専門性の高い研究に直接触れ、近代歯科医学が科学的根拠の上に成り立っていることを理解する目的で設けられたものです。履修者は受講後に報告書を提出し、その内容を基礎系の各講座・部門の教育職員が評価しました。その結果、1位が向井友子さん、同率2位が小林理香さん、佐藤ゆり絵さん、小池由紀さんの3名となり、宮崎歯学部長より表彰状を受け取りました。式の後、「すごく緊張した」と言いながらも皆喜んでいました。



昭和大学特別奨学生採用式が開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

本学には「昭和大学特別奨学金」があります。本奨学金は医、歯、薬学部の学生が卒業後、本学の一員として教育・研究・臨床に従事し、本学の発展に貢献する人材を育成するための奨学制度です。対象となるのは4年次の成績上位者で、歯学部の場合は上位10位以内で、次の条件を誓約し、奨学金の給付申請をした者に給付されます。「1. 歯学部卒業後、本学大学院歯学研究科基礎系社会人枠に進学し、かつ本学歯科病院で臨床研修を行うこと。2. 大学院歯学研究科修了後、4年以上本学において専任教育職員として教育・研究・診療に従事すること。」本奨学生は大学院に進学すると、大学院でも授業料相当額の奨学金が給付されます。本年度歯学部では2名(全体で22名)が本奨学生として採用され、5月25日、旗の台キャンパス1号館5階会議室で「昭和大学特別奨学生採用式」が開催されました。小出学長、小口理事長の挨拶に続き、採用者一人一人に小出学長より採用証が授与されました。採用者を代表して和田清花さん(医学部)が謝辞を述べ、青木崇吾君(医学部)の先導による昭和大学宣言、校歌斉唱の後、閉式となりました。本奨学金については学事部学生課にお問い合わせ下さい。



琉球大学医学部付属病院で選択実習を行いました

D6 久富 正太郎

私は、4月20日～5月1日の期間に琉球大学医学部付属病院に選択実習として行かせていただきました。私が、琉球大学を選択した理由は第一に昭和大学ではなく他の大学での臨床の見学をしたいと考えたこと、第二に将来的には離島で暮らしたいと考え島での医療を将来実践できるようにしたいと考えたこと、第三には、弟が現在琉球大学医学部に在籍しており、沖縄の人は人柄が温かいと聞いたので選択実習も温かく接していただけたと考えたこと、以上の三点の理由で琉球大学を選択しました。



実際の選択実習の見学では月曜:口唇口蓋裂などの奇形外来、火曜:悪性腫瘍などの患者さんの経過をみる腫瘍外来、水・金曜日:良性・悪性腫瘍や難

抜歯などの外科手術など盛りだくさんの一週間であり充実した選択実習ができました。外来の見学では、見学のほかにアシストなどもつけていただき、実際の臨床を体験させていただきました。ここでは、今までの学習の復習のほかに新しい器具や手技を見学させていただきました良い勉強になりました。

選択実習を通して、他の大学での新鮮な目での臨床見学をさせていただき本当に充実した実習期間が過ごせました。また、琉球大学の人に温かく接していただき本当に居心地が良い2週間でした。来年以降、昭和大学以外に選択実習で行く方は琉球大学をお勧めします。



認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本歯周病学会 認定医:

三森香織(歯周病学講座助教)

氷室沙羅(歯周病学講座助教(員外))

受賞

広報委員長 中村 雅典

・日本歯周病学会奨励賞

The junctional epithelium originates from the odontogenic epithelium of an erupted tooth.

氷室 沙羅 (歯周病学)

・第124回日本歯科補綴学会学術大会課題口演優秀賞

「毛包から分離した神経堤由来幹細胞の高純度培養方法の確立とその形質解析」

浦野-森澤 絵里(歯科補綴)



行事予定

広報委員長 中村 雅典

7月10日(金):夏季スポーツ大会壮行会

7月11日(土):第18回昭和大学公開講座
「暮らしと健康」

7月25日(土):歯学部オープンキャンパス

7月29～31日:昭和大学教育者のための
(水～金) ワークショップ(ビギナーズコース)

7月31～8月12日(金～水):第47回歯学体

8月6日, 7日 :昭和大学教育者のための
(木, 金) ワークショップ(アドバンスコース)

8月15日(土):歯学部オープンキャンパス

編集後記

歯科理工学部門 堀田 康弘

昔は地震、雷、火事、親父でしたが、今の日本は親父より火山のほうが怖いですね。末筆ながら、ご多忙の折ご寄稿下さいました皆様方に感謝致します。